

## 令和5年度階層別選択研修（共同）「プログラミング的思考を学ぶ」実施要領

### 1 目的

最適な方法で課題を解決に導く思考法を学ぶために、簡単なプログラミングツールを使用して解決までの順序やポイントを学び、論理的かつ効率的に考える力を身につける。

### 2 対象

【県】次のいずれかに該当する職員

- ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員
- ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員

【市町村】主任級以下の職員

### 3 予定人員

県40人・市町村40人（各回県20人、市町村20人）

### 4 日程

① 9月 6日（水）9：00～16：30

② 11月15日（水）9：00～16：30

9:00	9:05	12:00	13:00	16:25	16:30
オリエンテーション	「プログラミング的思考を学ぶ」 講義・演習	休憩	同左 講義・演習		振り返り等

### 5 手法

Zoomによるオンライン研修

※Zoomの利用環境を用意できない場合、以下の担当まで御連絡ください。

### 6 講師

一般社団法人日本経営協会 林 晃 氏

### 7 会場

各所属ほか

### 8 準備品

筆記用具、インターネットに接続できるパソコン等の端末（カメラ・マイク付）、テキスト等  
研修資料、「研修当日の参加方法について」

※本研修は、「Scratch」というプログラミング言語のツールをブラウザで使用しながら進めます。可能な限り、1人1台パソコンを御用意ください。

### 9 受講報告・研修効果確認レポート

下記URL（LoGo フォーム）から受講報告を提出してください。

受講報告は研修終了後から3日以内に行ってください。

【URL】（インターネット）

<https://logoform.jp/form/vqMu/305180>

（LGWAN:市町村職員のみ）

<https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/vqMu/305180>

また、県職員については研修効果確認レポートを研修終了後から14日以内に担当者（yoshino@hitozukuri.or.jp）宛てに御提出ください。

### 10 その他

（1）実施要領、シラバス（研修科目案内）を必ず御確認の上、御参加ください。

（2）業務等の都合によりやむを得ず欠席（遅刻・早退）する場合は、欠席（遅刻・早退）届を以下のおり提出してください。

また、欠席（遅刻・早退）することが当日判明した場合は、速やかに当広域連合に連絡してください。

**【提出方法】**

(県職員)

電子申請フォーム (<https://logoform.jp/form/vqMu/187195>) で御提出ください。

(市町村職員)

研修担当課へ欠席（遅刻・早退）を申し出てください。

- (3) Zoom の機能を用いたグループワークを予定しています。マイク・カメラの御用意及び研修中に発言可能な受講環境の確保に御協力をお願いします。

(県職員のみ)

SRD システム（リモートデスクトップ）では研修に参加できません。在宅勤務の場合は、自宅等の回線から接続する等して、県庁 LAN の負担軽減に御協力ください。

(市町村職員のみ)

他団体の受講生との意見交換の機会を確保するため、可能な限り、1人1台のパソコンを用意してください。

- (4) Zoom の接続については、「研修当日の参加方法について」を確認してください。

- (5) 研修開始5分前には Zoom に接続し待機してください。

- (6) 本研修は、「Scratch」というプログラミング言語のツールをブラウザで使用します。動作推奨環境を確認の上御受講をお願いします。タブレットでは、ワークに参加することができませんので御注意ください。

**【動作推奨環境】**

Google Chrome (バージョン 63 以上)/Microsoft Edge (バージョン 15 以上)/Mozilla Firefox (バージョン 57 以上)/Safari (バージョン 11 以上)

※Internet Explorer はサポートされていません。

- (7) 本講義については、録画、撮影（スクリーンショット含む）及び引用、転載等による第三者への共有はしないでください。

担当：彩の国さいたま人づくり広域連合

人材開発グループ県職員担当 吉野【E-mail】yoshino@hitozukuri.or.jp

市町村職員担当 川本【E-mail】kawamoto@hitozukuri.or.jp

【電 話】048-664-6681 (県職員担当) 048-664-6684(市町村職員担当)

【FAX】048-664-6667(共通)

## 階層別選択研修（共同）

研修名	中級【業務改善分野】	おすすめポイント		
	プログラミング的思考を学ぶ	プログラミング的思考とはなにかを、個人・グループでの演習を通じて体験的に学び実践できる研修です。初心者用のプログラミングツールを実際に操作しながら、考えを論理的に組み立て、効率的にまとめるための思考方法を身につけることができます。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 はやし あきら 林 晃	実施日数・時間	1日間	
		手法	オンライン研修	
		会場	各所属ほか	
		市町村研修コード	240～241	
ねらい	最適な方法で課題を解決に導く思考法を学ぶために、簡単なプログラミングツールを使用して解決までの順序やポイントを学び、論理的かつ効率的に考える力を身につけます。			
対象者	<b>【県】</b> 次のいずれかに該当する職員 ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 <b>【市町村】</b> 主任級以下の職員			
実施日	① 9/6(水) ② 11/15(水)			
予定人員	県40人・市町村40人（各回 県20人・市町村20人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	プログラミング的思考とは何か  Scratch入門  論理的に行動を考える  アルゴリズムを考案する  システムを論理的に考察する  架空の並列するシナリオを分析する	6	30	・プログラミング的思考について ・プログラミングとはどんなものか、開発に携わる人の役割や流れなど一般的な基礎知識を学ぶ  ・プログラミングツール「Scratch」について ・Scratchの基本操作 ・Scratchを使ったプログラミング入門  ・迷路を抜ける方法を論理的に考える ・Scratchで簡単なスクリプトを作成し、アプリ化するプログラミング体験  ・アルゴリズムという考え方を学ぶ ・変数、条件分岐、繰り返しについて ・アルゴリズムをScratchで実現するスクリプトを作成  ・なじみ深いアプリの動作を外から予想 ・物事を外から見て分析、検討する方法を学ぶ  ・少し複雑なケースを分解して論理的に組み直す ・状態遷移と状態の見える化 ・登場人物（役割）への注目
特記事項	・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。			